

自慢して誇れる町づくりを

てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）食文化部会（木名瀬奈枝部会長）では、地産地消を推進しようと、実際に地場産品を使用して商品化されているメニューなどを取材して、まとめる活動を実施しています。昨年度は、まとめた内容を「MAD E i n てしかがガイド」というパンフレットにして頒布したほか、地域のポータルサイト「弟子屈なび」でもダウンロードできるようにして、広く紹介しています。今年度は「摩周そば」を使ったメニューなどを取材しています。同部会では、他にも地域の食文化を後世へ伝える食文化の「聞き書き」などにも取り組んで



食文化部会発行の「MADE in てしかがガイド」

「てしかがガイド」は、弟子屈なび内でも広く紹介されています。これまで、「春のフクジュソウなどの植物や牧草ロールの景色、月夜の摩周湖といったものが紹介されています。一般的な観光景勝地だけではなく、地域住民が日常生活を送る中で気づく「きらり」と輝き、自慢して誇れる風景を紹介す

各専門部会で独自の取り組み

てしかがえこまち推進協議会

きており、これまで「ポッチェいも」「呉汁」しいたけ弁当など、6つの食をまとめています。木名瀬部会長は「これからも、地域の素晴らしい産品を掘り起こすとともに、広く伝えていくこうした取り組みを地道に進めていきたい」としています。

女性部会（高梨ひとみ部会長）は、地域の女性目線で感じる「きらり」と輝くオスメスポットを「てしかがきらりスポット」として、弟子屈なび内で広く紹介しています。これ

ることで、地域外の方々へ異日常を提供しようという取り組みです。高梨部会長は「たくさんの方の異日常を紹介することで、観光客はもちろんだ元々の皆さんにも自慢して誇れる町になってほしい」と話しています。

情報部会（山本和之部会長）が主体となって取り組んでいる地域ポータルサイト「弟子屈なび」は、地域のさまざまな情報を地域内外へ発信することを目的としています。*グーグル・アナリティクスによると、昨年1年間に弟子屈なびのそれぞれのページが全部でどれだけ見られたかを示すページビュー数は393万9千112ページ。一昨年の313万2千987ページから、約27%増加しています。また、平均滞在時間も、6分18秒から6分33秒と長時間化しています。

山本部会長は「こうした動きは単にユーザーの動向であり、これだけで全てを判断できるものではないが、今後はコンテンツの内容など、どのようにしてさまざまな旅行商品や体験、食などを売っていかけるかが課題。事

業者の皆さんにも積極的に活用してほしい。さらなるページビュー数の増加と滞在時間の長時間化を進めていきたい」と話してい

宿泊施設での情報発信がポイント

イギリス人のアマンダ・ハローウさんが講演



参加者へアドバイスするアマンダさん

支援を行っているアマンダ・ハローウさんが「外国人旅行者から寄せられる質問から見えること」と題して講演を行いました。研修会には、同協議会の会員や観光関係者など約40人が参加。アマンダさんのお話に興味に耳を傾けていました。

アマンダさんは札幌市在住のイギリス人。英会話学校を経営しながら、総合旅行情報サイト「トリップアドバイザー」の道内旅行に対する質問や疑問にボランティアで答えており、投稿に関する対応件数の最多記録を更新中です。アマンダさんは「摩周湖星紀行や馬そりなどを体験した。自然が豊かなこの地域でのエコツアーや、体験プログラムが旅行の目的となる。これらの情報発信は、やはり宿泊施設がポイントとなるので、地域や宿泊施設が連携して情報発信に努めてほしい」と、地域内での連携の重要性を強調しました。

納谷幸喜さんに国民栄誉賞

1月19日に72歳で亡くなった弟子屈町名誉町民第1号の元横綱・大鵬こと納谷幸喜さんが、国民栄誉賞を受賞しました。国民栄誉賞の受賞は21例目で、角界からは2人目です。



弟子屈を第二のふるさととして愛した納谷さんは、第48代横綱・大鵬として角界で活躍。史上最年少（当時）の21歳で横綱昇進、史上最多の幕内優勝32回を記録するなど、輝かしい功績で国民を魅了しました。昭和の大横綱として、また国民的英雄として、社会に明るい夢と希望と勇気を与えた納谷さん。引退後は後進の指導に情熱を注いだほか、献血運搬車の寄贈など社会貢献や慈善事業にも熱心に取り組み、今回の受賞となりました。

偲ぶ会を開催します



長年にわたり本町の発展に尽力された納谷幸喜さんへの敬愛と感謝の意を表し「偲ぶ会」を次のとおり開催します。

- ▶日時／3月31日(日) 10時
- ▶場所／摩周観光文化センター
- ※ご参列の際は平服でお越しください。
- ※お香典やご供花などは辞退します。

問い合わせ先／役場総務課総務係 ☎ 4 8 2 - 2 1 9 1

公共下水道供用開始予定区域の縦覧を行います

平成25年3月31日供用開始区域
(泉3・5丁目の一部、鈴蘭5丁目の一部ほか)

縦覧期間／3月6日(水)～3月19日(火)
縦覧場所／役場水道課窓口(2階)

平成24年度に下水道本管などを敷設し、整備の完了した区域の供用(使用)開始を、平成25年3月31日から予定しています。

それに先立ち、供用(使用)開始を予定している区域を確認したい方のために、区域図面を水道課に備え付け、縦覧に供しますので、ご確認くださいようお知らせします。

※供用開始に伴う受益者負担金・排水整備工事などについては、広報てしかが4月号に掲載し、お知らせします。

問い合わせ先／役場水道課下水道係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 2 (課直通)